

健康クリニック

学校感染症の出席停止期間 いつまで休めばいいのでしょうか???

村木クリニック院長 医学博士 **村木 宏要** 先生

新型コロナウイルスは、引き続き各地で発症事例が見受けられます。

継続的な予防対応が必要です。今回の新型コロナウイルスの流行の際にもありましたが、この季節になると外来患者さんで、子供をもつお母さんから『〇〇病に罹ったらいよいよつまで学校を休ませればいいのか?』という質問をいただきます。

幼稚園、学校では、感染症を予防し、学校内で感染が広がらないよう

熱が下がって2日を経過するまで
特有の咳が出なくなるまで
熱が下がって3日を経過するまで
耳下腺の腫れがおさまるまで
発疹が消えるまで
すべての発疹がかさぶたになるまで
主な症状がなくなった後2日を経過するまで

学校感染症には、その病気の伝染力などの重大性に応じて以下の学校伝染病区分があります。

2. 第2種学校伝染病

放置すれば学校で流行が広がってしまう可能性がある学齢期の主要な学校感染症です。

病名	感染経路	潜伏期	感染期間	出席停止期間
インフルエンザ	気道接触 飛沫	1~3日	発熱後3~4日	熱が下がって2日を経過するまで
百日咳	飛沫 気道	1~2週	1~4週間	特有の咳が出なくなるまで
麻疹(はしか)	飛沫 気道接触	9~12日	発疹の出る前5日~ 出た後3,4日	熱が下がって3日を経過するまで
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	飛沫	2~3週	耳下腺の腫れる前7日~ 腫れた後9日間	耳下腺の腫れがおさまるまで
風疹(三日ばしか)	飛沫 気道	2~3週	発疹の出る前7日~ 出た後7日間	発疹が消えるまで
水痘(水ぼうそう)	飛沫 気道接触	2~3週	発疹が出る前1日~ すべての発疹がかさぶたになるまで	すべての発疹がかさぶたになるまで
咽頭結膜熱(プール熱)	気道接触 (結膜)	5~7日	発病してから2~4週間	主な症状がなくなった後2日を経過するまで

3. 第3種学校伝染病

放置すれば学校で流行が広がってしまう可能性がある感染症です。病状により学校医その他の医師において伝染の恐れがないと認めるまで出席停止とします。

病名	感染経路	潜伏期	感染期間	出席停止期間
腸管出血性大腸菌感染症(O-157)	経口	4~8日		症状に応じて医師が感染の恐れがないと判断するまで
流行性角結膜炎	接触	4~10日	発症してから1~2週間	
流行性嘔吐下痢症	経口	1~3日		
手足口病	飛沫 経口 接触	3~5日	のどから1~2週間 便から3~4週間	
マイコプラズマ肺炎	飛沫	2~3週		症状に応じて医師が感染の恐れがないと判断するまで
溶連菌感染症	飛沫 接触	2~5日	潜伏期後半~急性期の間	症状に応じて医師が感染の恐れがないと判断するまで
伝染性膿痂疹(とびひ)	接触 (水疱の分泌物)	2~5日	水泡から膿の出る間	通常出席停止はなし
伝染性紅斑(リンゴ病)	飛沫	7~14日	(症状出現後は感染力が弱い)	通常出席停止はなし

以上のようになっています。実際はこのような伝染病に罹ったと診断されれば、その都度、幼稚園、学校及びかかりつけの医師にご確認下さい。

エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、コレラ、細菌性赤痢、ジフテリア、腸チフス、パラチフス、痘そう、重症急性呼吸器症候群(SARS-CoV-2)ナウイルスに限る)

1. 第1種学校伝染病
発生は稀ですが、重大な感染症で治癒するまで出席停止となります。